

トピック — 大雪の影響について —

関東甲信地域は、全国の野菜の農業産出額の3割強を占め、施設園芸も盛んである。

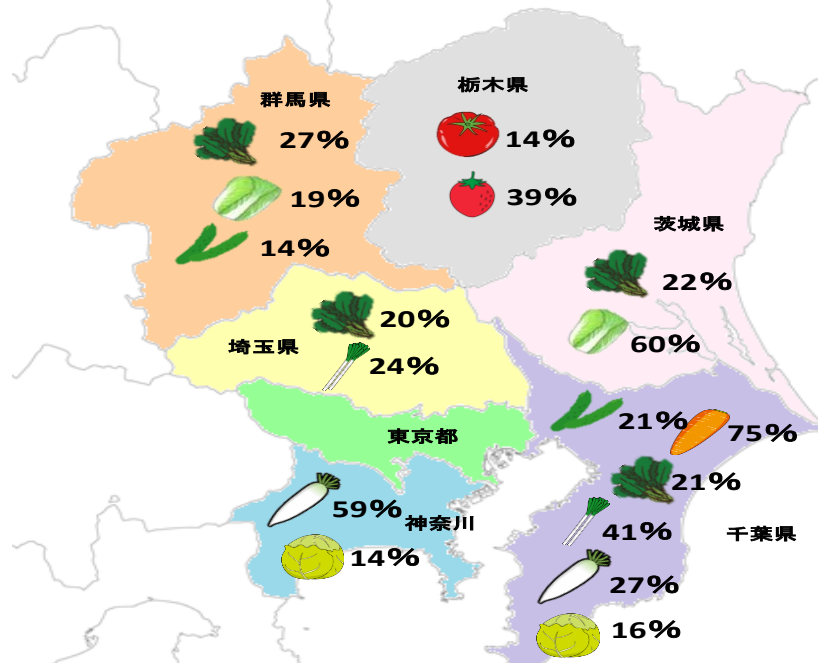
2月14日から16日にかけての関東甲信地域を中心とする大雪では、記録的な積雪と雪の重み等から、農業用ハウス等の倒壊や野菜、果樹の損傷等、かつてない農業被害が生じている。(参考:関東甲信各都県の農業被害暫定額 約650億円(各都県集計、2/24段階)

2月の時期に首都圏に出荷される根菜類(だいこん、にんじん)、葉物類(ほうれんそう、ねぎ、キャベツ等)は、関東地域が主力産地であることから、これら品目を中心に、大雪、降雨等による損傷や収穫遅れ、物流の一時的停滞等から、出荷量が減少し、高値傾向となった。

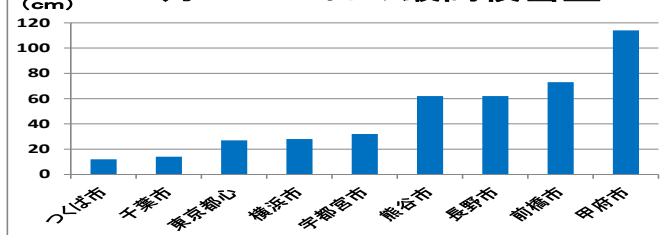
なかでも、ねぎやほうれんそうの主力産地である埼玉県、群馬県で記録的な積雪となったため、2月中旬以降の需給動向をみると、いずれの品目も出荷量の減少等により価格が大幅に上昇した。

現在、産地では復旧に向けた取組が着手され、出荷量が回復しつつあるだいこん、キャベツ等の品目もあるが、ハウス等の倒壊、今後の野菜苗の生産や農作業の遅れ等の影響が懸念される品目もあり、春以降の被災産地等に係る品目別の需給動向をさらに注視していく必要がある。

2月の首都圏への主な野菜の出荷のシェアと降雪量(関東地域)

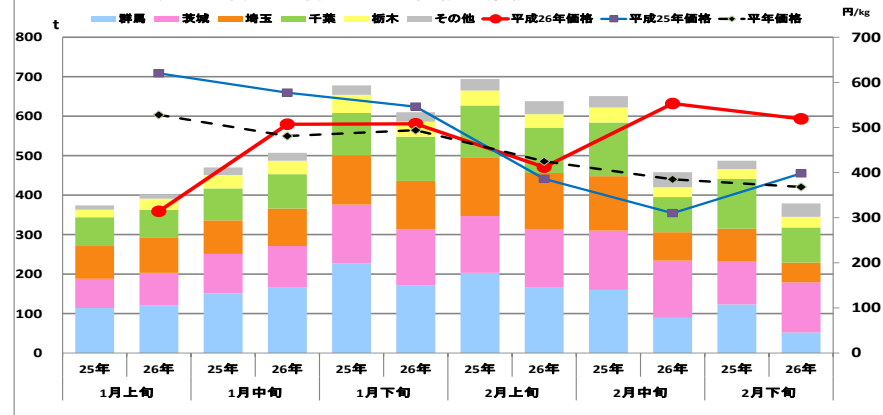


2月14～16日の最高積雪量



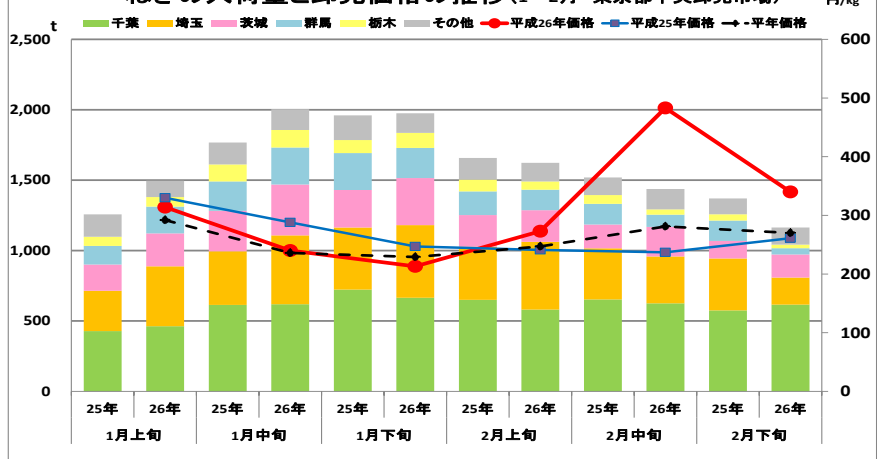
資料: ペジ探(原資料) 東京都中央卸売市場月報、気象庁「気象統計情報」
注: 品目及び%は、東京都中央卸売市場の平成25年の実績

ほうれんそうの入荷量と卸売価格の推移(1～2月 東京都中央卸売市場)



資料: 青果物情報センター

ねぎの入荷量と卸売価格の推移(1～2月 東京都中央卸売市場)



資料: 青果物情報センター

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、斎藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はペジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.htmlに掲載しています。